

大すきひろせ

広瀬交流センター・広瀬公民館だより
162号 2021年2月号

新春特別増刊号

今年は、例年1月1日に開催している新年賀会を中止としたことから、地域の皆様から、新年のあいさつ、地域への想いなど、メッセージをお寄せいただき、新春特別増刊号を発行することとしました。

自治会編

順不同・敬称略



広瀬地区自治会協議会会長（塩谷自治会会長）
松坂 一則

新しい年が明けました。

皆様には、平素より自治会の活動に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、突然襲いかかって来た猛威、新型コロナウイルス感染症により思いもしない一年になりました。こうした中で、あらたまった感覚が湧いてこない、正月らしさがいまひとつ感じられないスタートです。

昨年は地域の行事やお祭りも無く、一体何だったのかとの思いの皆様は多かったのではと思います。ですが広瀬には自然と歴史の中で営んできた人々の豊かな暮らしがあります。地域の助け合いや絆が残る古き良き郷土を通して、このコロナの中ひとりひとり手を取り合いながら乗り越えていきたいものです。

旭町一自治会 会長 脇本 眞樹

『山城「月山富田城址」への想い』

この町の財産は難攻不落の山城要塞の月山富田城址が目の前にあることである。

歴史と四季折々の詩情を内包してをり、年間歩いても飽きることがない。戦国時代のこと・尼子一族のこと・鹿介のこと等一所懸命に生きたことをこの山は・この町は思い出させてくれる。この町を守るのは私たち一人一人です。悠久の山城資産と戦国時代の精神を心に刻みこの町を美しく残して行きたい。



上町自治会 会長 太田 正紀

令和2年度は、1月9日頃中国武漢において、新型コロナウイルス発生があり、その後全世界に広がり、東京オリンピックが一年延期となった。自治会活動は、過去経験したことない新型コロナウイルス感染防止のため、あらゆる計画が中止となり、町内への情報伝達及び役員会を開催することもできず、縮小しての役員会・三役会で打ち合わせを行い、町内の皆様へ書面での連絡となった。自治会活動するに非常に悩まされた一年であった。

令和3年度は、自治会活動及び広瀬交流センター活動が、コロナウイルスが沈静化し、例年通り開催されることを願うばかりです。

祖父谷丁自治会 会長 稲田 法明



新しい年を迎え、本来ならば希望に満ちていなければならないはずの正月を、コロナの不安をかかえて迎えたことに、とても悲しいものを憶えます。幸いにもここ島根は、全国的にも感染者が少なく、まだ一人も死者を出していないことは、すごいことと思います。昨年、今年にかけて自治会の活動も、ほぼ中止にせざるをえず残念でなりません。

本年が、地域自治会共に、行事が出来ること祈り、全国のコロナが収束することを願います。



川平地区自治会 会長 加藤 繁行



昨年からのコロナ禍で私たちの生活は一変しました。今まで当たり前とっていたことが出来なくなり、私たちの気持ちも落ち込んでいるのではないのでしょうか？この災いに打ち勝って日々の生活が戻るよう、新しい生活様式と上手く付き合っていきたいと思います。

私達の地区は10軒で40名足らずというとても小さな自治会です。そんな小さな自治会ですが、1月5日のとんどさんでは根から掘り出した竹で建てたとんど焼きや、秋には富田八幡宮のしめ縄を奉納させていただくなど、昔ながらの習わしを何とか続けています。いつまで続けられるかわかりませんが、地区の皆さんと協力しながら細々と活動していきます。本年も宜しくお願い致します

志多町自治会 会長 荒木 幸紀

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナに明けコロナに暮れた1年であり、感染拡大防止の影響により、行事の中止や自粛により皆様には、大変ご協力を頂きありがとうございました。

本年の干支は、『丑（うし）』ということで、丑年は「我慢（耐える）」「発展する前触れ（芽が出る）」の年ともいわれ、コロナ過に耐え、一日も早いワクチンの実用化による収束を見て、新たな自治会活動の発展に向けてスタートを切れる、そんな年になることを皆様と共に祈っております。

新宮自治会 会長 清山 博義



皆様、新年おめでとうございます。

年末に約10年ぶりに冬将軍襲来、暖冬になれた我々には雪かき、今後の積雪量の確認等大変な年明けになりました。昨年には関越自動車道での雪害も発生しました。今年は降雪量も例年より多い予報も出ています。充分のご注意をお願い致します。

コロナに負けない、異常気象にも負けないをスローガンにして、どうか、今年1年集落が親交を深め活性化した集落でありますように、そして、各家庭において健康、安全な生活を過ごされますようお願いしております。



本町自治会 会長 黒川龍一



正月飾りの準備で懐かしく思うのは子供の頃自治会単位で行ったモロモキ採りである。小中学生が師走の山に入り自らに課された枚数を採取。各戸に配って得た寄付金で正月天神講の軍資金にした。小学1年生で雪山に入りノルマに挑むなど今では絶対有り得ないが上級生が下級生の面倒を見て団結していた。

ある年、山の日暮れで道に迷い親達が出動する騒ぎを起こし、昭和40年代前半頃に途絶えたが、子供達は遅しく育った。少子化の今、地域の力をいかに育むか、正念場である。

牧谷地区自治会 会長 岩田 真和

昨年はコロナ禍の影響で様々な催しが中止されました。当自治会でも例外ではなく行事の縮小、中止を余儀なくされました。未だ終息の見通しが立っていない中、新たな生活様式が確立されてきつつあり、これからの自治会運営や行事においても見直す良いきっかけになったと感じております。

今年はコロナと上手に付き合い地区内でのコミュニケーションが取れる自治会となるよう協力していきたいと思います。



安来市議会議員 足立 喜信

皆様明けましてお目出とうございます。

昨年はコロナに始まりコロナに終わった一年となりました。何よりも人との交流が大きく制限を受ける年にもなりました。又今迄の経済のあり方もあらゆる分野で様変わり致しました。その様な状況の中で本年は何としてもコロナが終息せねばなりません。ワクチン接種はいつ頃より出来るのか、又オリンピックの開催をする事が出来るのか。一方私達はコロナを恐れる余り地域や家庭にある大切な事を全て省略してはなりません。再び元気で活力ある国、地域になります様に、広瀬町も市立病院の今後具体的問題を始めとし、今だ解決せねばならない多くの課題があります。これら諸課題は町民皆様方のご理解ご協力をえながら一つ一つ解決して行かねばなりません。今年は丑年一歩一歩前に進み皆様方共々になごやかで幸せあふれる一年となります様に。



安来市商工会 副会長 荒銀 純治



新年あけましておめでとうございます。

日頃より安来市商工会の活動に対しご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、商工会の多くの事業が中止になりました。皆様方にもご迷惑をおかけしたこと、紙上をお借りしてお詫び申し上げます。

今般のコロナ禍に際し、商工会には多くの事業者の皆様より補助金等の問い合わせが寄せられています。お困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

またこれから起業をお考えの方に向けても様々な支援がありますので、どうぞお気軽にご連絡ください。本年が皆様にとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

広瀬地区体育協会 会長 岩田 仁志

新年明けましておめでとうございます。本年も体育行事にご協力よろしくお願い致します。

昨年はコロナ禍で体育行事がほぼ出来ず皆様方には、ご迷惑をお掛けしました。今年は、コロナが早期に終息する事を願い、体育行事が出来る事を願っております。

現在総合体育館は耐震補強工事を行っています。八月まで掛かる予定ですので今年の体育行事が行えるようになれば、それまでの体育館でのスポーツ行事は、月を変更して実施する予定にしております。ご協力をお願いします。

人間の体は、口から物を食べ、外で日に当たり、笑顔で会話を楽しんだり、身体を動かす事で免疫力アップするとも言われています。運動をして身体を動かしコロナに負けない身体を作りましょう。

今年はコロナが終息するまで、三密を避けコロナと共存しながら運動をして行きましょう。

自主防災ひろせ 会長 太田 正紀



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染発生のため、自主防災ひろせの活動も思うように出来ない状況下でございました。その中で、昨年、11月28日自主防災ひろせとして、初めての「避難訓練」を開催いたしました。各自治会の皆様にご案内をしまして、12自治会の皆様に参加していただきました。参加の自治会のご意見をお聞きしながら「開催してよかった」と思った次第です。まずは、初回でしたので、皆様のご意見をお伺いしながら、いつ襲ってくるかわからない災害に備える活動を続けねばならないと思っております。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、令和2年度の「大雨による避難訓練」を基に、更に発展させ、大災害に備える活動及び情報処理等の勉強会等を考えていきたいと思っております。

今年の冬は、ラニーニャ現象のため、大雪が降る予想とされております。どれだけ降ったり、積もったりするのかわかりませんが、要注意です。

今年度の自治会の皆様のご支援とご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。



安来市商工会 (運営協議会委員) 祖田 秀人



新年明けましておめでとうございます。

本年も変わらず交流センター活動、安来市商工会の活動に御理解と御協力をお願い致します。

さて、昨年はコロナウイルス感染症で大変な年となりました。オールドメディアと言われるTVのワイドショーはこぞって不安を煽り、責任のないコメンテーターや評論家達の批判する事しか出来ない言葉で民意を先導する様な報道ばかりで嫌な気持ちになりました。一日も早くコロナウイルス感染症の収束とTVからワイドショーが無くなる事を願うと共に、自分の頭で考え、自分の言葉で話す、人としてあたりまえの事を忘れない様に過していきたいと思います。

安来市議会議員 樋野 智之



お健やかに初春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は年初来のコロナ禍により、行動の自粛やイベント等の中止で社会生活に多大な影響を及ぼしました。本年はその不安が払拭され、平穏な日常に戻り、良い年になりますようお願いばかりです。

さて、市政に於いては新しい首長を迎えて、様々な変化の様相がある年と感じています。既に長年にわたり広瀬のシンボルとなっています富田山荘の休館が決議されました。難攻不落で戦国絵巻を体感出来る月山には一昨年度で二万一千人を超え、昨年はコロナ禍の中でも一二月迄でも一万五千人もの入山がありました。観光振興での街の賑わいの創出を期待した矢先です。本市の財政の立て直しの一環として理解は出来ませんが、是非とも地元皆様とともに鋭意知恵を出し合い、広瀬には無くてはならない施設の在り方を創出し、市政に提案提言をして参ります。また合併以来改築など手つかずの老朽化施設のあり方、賑わいの創出には無くてならない図書館新設など解決すべき課題が山積みです。広瀬の皆様が安心して住みたくなる街の在り方を市政執行部と議論を交わし、ひとつひとつ具現化に向けて推し進めてまいる所存です。



島根県農業協同組合

代表理事副組合長 山根 盛治



新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、全国的に、計画されたイベントや研修会など、行事の大半が中止や延期となり、ストレスの溜まる一年でした。今年はコロナが早く終息し、幸多い年となることを願っております。

しかしながら、今年に入ってなお島根県でも感染者が確認されるなど、まだまだ終息する兆しは見えません。このような時こそ変革の時として考え、新しい流れを創る時ではないでしょうか。コロナ禍の中で、働き方・生活環境・行動スタイルが大きく変わりつつあります。これをプラスに捉え、“住みよい街 広瀬” “住みたい街 広瀬” を目指し、持続可能な地域社会を作っていきましょう。

J Aしまねも地域の活性化に組織をあげて協力して参ります。今年もよろしく願いいたします。

民生児童委員協議会広瀬支部 支部長 吉田 雅由



「見守り、つなぐ、地域とともに」

新型コロナウイルスに世界中が翻弄されています。地域でも行事や活動などを自粛する状況が続いています。感染拡大の波が繰り返し全国的に拡大している事態に、多くの人々が不安な日々を送っています。世の中が元通りに戻ってほしい。しかし、人と人との交流がまるきり元に戻れるのか、今は全く分かりません。

民生児童委員は、育児や介護など地域の様々な生活上の困りごとを行政機関や専門機関につなぐことをメインに活動しています。活動の多くが、人と接することを基本としますので、難しさに直面しています。

民児協では、互いの安全を守りながら、日頃から築いてきた地域のつながりが途切れないよう今後も地道に見守り活動を続け、地域福祉の向上に努めたいと思います。